

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	和歌山高等美容専門学校
設置者名	和歌山県美容連合協同組合

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	美容科	昼間	2196 時間	160 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

URL 公開 <a href="http://wbac.sub.jp/home/pdf/shirabasu.pdf">http://wbac.sub.jp/home/pdf/shirabasu.pdf</a>
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 理事（役員）名簿の公表方法

--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	和歌山高等美容専門学校
設置者名	和歌山県美容連合協同組合

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校関係者評価委員会
役割	2020年4月1日までに、外部人材の意見を反映することができる組織に関する規定の整備を確実に実施する。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
現職 美容関係 代表取締役社長	平成31年4月1日 ～令和5年3月31日 (4年間)	ブライダル・着付等の美容関係
現職 医療関係 代表取締役社長	平成31年4月1日 ～令和5年3月31日 (4年間)	訪問美容等に関する対応
現職 美容関係 オーナー	平成31年4月1日 ～令和5年3月31日 (4年間)	一般美容室でのサロンワークに関する対応
(備考)		

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	和歌山高等美容専門学校
設置者名	和歌山県美容連合協同組合

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>自ら学び考える力を育めるよう、創意工夫を生かした授業計画を立てる。学習する科目の、目的・達成目標・評価方法を明確にしつつ、一般教養科目群及び専門教育科目群の実施方針に則り、一般教養と専門教育のバランスを配慮し独自に設定している。又、学生の負担加重とならないように、実施時期、実施回数、時間を考慮し、2年間でゆとりをもった進行計画を立てて、実施。それを受講する学生と共有することを目的に公表する。公表の時期は新年度開始の月とする。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>URL 公開  <a href="http://wbac.sub.jp/home/pdf/shirabasu.pdf">http://wbac.sub.jp/home/pdf/shirabasu.pdf</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業科目の学修成果は、あらかじめシラバス等で提示している成績評価の基準に基づいて評価する。学習意欲の把握については成績評価の結果だけでなく、日頃の学習態度やボランティア活動及び積極的なイベント参加等を考慮し、担任教員の主観だけではなく他教員等による客観的な評価も加味する。履修の認定において各項目で不足が生じる科目がある場合は、補習をもってこれを補うことができることとする。</p>	
<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
<p>出欠状況・提出物・小テスト等で日頃の評価を行い、毎学期末ごとに行う期末試験の結果を成績表として作成し、保護者に郵送で送付を行う。</p> <p>2020年度より、履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する。算出した点数を、90-100点【A】、80-89点【B】、70-79点【C】、60-69点【D】、59点以下【E】、として評価する。</p> <p>評価をもとに成績の分布状況を把握し、適切な指導にあたる。</p>	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	URL 公開 <a href="http://wbac.sub.jp/home/pdf/sotsugyouinintei.pdf">http://wbac.sub.jp/home/pdf/sotsugyouinintei.pdf</a>
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)	
<p>卒業認定は、次に掲げるすべての事項に該当する者において行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出席すべき日数、各教科の出席すべき時間数に不足がないこと</li> <li>・学期末に行う定期テストの成績が合格点に達していること</li> <li>・授業料などの納入を怠っていないこと</li> </ul> <p>学習成果、習得すべき技術の評価等を含め、進級・卒業認定会議において判定し、適切に卒業を認定する。</p> <p>卒業を認定した者においては、卒業証書とともに専門士の称号を授与する。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	URL 公開 <a href="http://wbac.sub.jp/home/pdf/sotsugyouinintei.pdf">http://wbac.sub.jp/home/pdf/sotsugyouinintei.pdf</a>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	和歌山高等美容専門学校
設置者名	和歌山県美容連合協同組合

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="http://wbac.sub.jp/home/pdf/taisyaku-taisyohyou.pdf">http://wbac.sub.jp/home/pdf/taisyaku-taisyohyou.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="http://wbac.sub.jp/home/pdf/taisyaku-taisyohyou.pdf">http://wbac.sub.jp/home/pdf/taisyaku-taisyohyou.pdf</a>
財産目録	事務室に備付で、申請があれば閲覧・公表
事業報告書	事務室に備付で、申請があれば閲覧・公表
監事による監査報告（書）	事務室に備付で、申請があれば閲覧・公表

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		専門課程	美容科	○	-----		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2010  単位時間/単位	540時間/ 単位	60時間/ 単位	510時間/ 単位	単位時間/ 単位	900時間/ 単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70人		27人	0人	4人	6人	10人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）自ら学び考える力を育めるよう、創意工夫を生かした授業内容を考え、学習する科目の、目的・達成目標・評価方法を明確にし、一般教養と専門教育のバランスを配慮し独自に設定している。</p> <p>又、学生の負担加重とならないように、実施時期、実施回数、時間を考慮し、2年間でゆとりをもった進行計画を立てて、実施。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）出欠状況・提出物・小テスト等で日頃の評価を行い、毎学期末ごとに行う期末試験の結果を成績表として作成する。</p> <p>2020年度より、履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出し、算出した点数を、5段階で評価する。その結果に基づき、各項目で不足が生じる科目がある場合は、補習をもってこれを補うことができる。</p>

卒業・進級の認定基準
(概要) 各教科の総合成績、出席状況、習得すべき技術の評価、進級・卒業認定試験の結果を踏まえたうえ、担任教員の主観だけではなく他教員等による客観的な評価も加味し、進級・卒業認定会議において適切に卒業を認定する。 卒業を認定した者においては、卒業証書とともに専門士の称号を授与する。
学修支援等
(概要) 単位不足、出席不足で履修認定及び卒業認定できなかった者については、補習をもってこれを補うことができることとし、認定できる状態になるまで学修支援を続ける。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
21人 (100%)	人 (%)	20人 (95.2%)	1人 (4.8%)
(主な就職、業界等) 美容室、エステサロン、ネイルサロン、まつエクサロン、美容ディールー 他			
(就職指導内容) 個人面談、就職のための面接指導、現場実習等のOJTの実施 等			
(主な学修成果(資格・検定等)) 美容師国家試験受験資格取得、美容師免許取得、ネイリスト技能検定取得			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 特待生による入学金一部免除、授業料等の分割払い、個人面談		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
美容科	円	円	円	
1年次	100,000円	480,000円	296,000円	
2年次	円	480,000円	284,000円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://wbac.sub.jp/home/pdf/gakkou-zikohyouka.pdf">http://wbac.sub.jp/home/pdf/gakkou-zikohyouka.pdf</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 2020年4月1日までに、外部人材の意見を反映することができる組織に関する規定の整備を確実に実施する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
美容関係株式会社の 代表取締役社長	平成31年4月1日 ～令和5年3月31日 (4年間)	企業
医療関係株式会社の 代表取締役社長	平成31年4月1日 ～令和5年3月31日 (4年間)	企業
美容関係有限会社の 美容室オーナー	平成31年4月1日 ～令和5年3月31日 (4年間)	企業
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://wbac.sub.jp/home/pdf/hyoukahoukoku.pdf">http://wbac.sub.jp/home/pdf/hyoukahoukoku.pdf</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報



(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<http://www.wbac.ac.jp/>